

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	山形地域福祉事業所 陽だまりクラブ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月16日 ～ 令和7年2月5日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年1月22日 ～ 令和7年2月5日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の方と積極的に交流を図っている。子どもたちの体験、経験の場を増やしている。	施設内で行っている地域食堂、お惣菜販売は、地域の方が積極的に入り、主体となって活動を行っている。 ハロウィン、スタンプラリー、夏祭り、昼食作りの際には、地域の方に呼びかけ、継続的に交流を図っている。	継続的に交流を図っていく。 発信していき、事業所の活動に共感してくださる方を募っていく。
2	外部講師をお呼びし、支援に生かしている。	陽だまりの中だけで完結するのではなく、外部の目もいれ、様々な視点から、子どもたちにとって良い環境作っている。	必要に応じて、違う業種の講師にも入っていただく。
3	保護者支援について力を入れている。	就労している保護者のために、延長対応時間を設け、保護者の方が安心して働ける環境を作っている。 地域食堂やお惣菜販売など、保護者の困り感やニーズに応じて、出来ることから形にし、保護者の負担軽減等につなげている。	保護者にニーズや困り感を、一番近くで感じながら、出来ることから一緒に形にしていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が老朽化しているが、改修が難しい。	資金面に問題がある。	優先順位を決めて環境を整えていく。
2	保護者交流会は実施しているが、父母の会がない。	保護者からの要望が今のところありません。	要望に応じて、保護者の方と一緒に父母の会の準備を進めていく。
3	地域の同世代の子どもたちの交流がない。	発信できていない。事業所の役割や交流の必要性を理解いただけていない。	放課後等デイサービスの事業や、交流の必要性について事業所とし発信をしていき理解を促していく。子どもたちの特性に応じて交流を図っていく。